

## 6 . 評価委員会による評価結果

### ( 1 ) 児童福祉施設 ( 児童館 7 館 )

指定管理者の名称 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団  
 所管部課 教育委員会 児童保育課

#### 評価委員会による評価

##### 1 評価の観点

「評価の観点」(1)～(4)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

##### (1) 事業の運営

委員会の 評価	A	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	池之端	松が谷	今戸	寿
		A	A	A	A	A	A	A

##### 委員のコメント

良い点
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 7つの児童館とも、館長を中心に事業団の運営方針を着実に遂行している状況にあり、設置の目的である&lt;児童の健全な成長を促す&gt;ことに専念している実態がある。各館長に聞いた「児童館の基本理念をどう描いているか」という問いにも、それぞれの実情を踏まえた的確な回答をしていただいた。今後も館長自らが児童館の意義の理解と質的向上に努力してほしい。</li> <li>○ 月間・週間予定や特別行事に関し、その周知を丁寧にわかりやすく実施しており、児童館相互の情報をそれぞれの掲示板で案内している事も良い。</li> <li>○ 職員の方々が皆さん明るく元気で、子ども達となごやかに遊んでいる様子は、児童館の役割として一番大切なことである。どの館でも子ども達を慈しんで接しているように見受けられた。図工室など危険なところは上履きを使って入室を管理するなど工夫も見られた。</li> </ul>

## 改善すべき点

- 事業運営の各内容が7つの館ともほぼ同様であり、各館の個性がないように感じた。どの館でも区民や子供の要望に共通に応じる姿勢は尊重できるが、館長の個性（経験や専門性）に応じて、運営上の特徴を発揮してもよいのではないかと。ある意味で、無難な運営をしている状況といえよう。この点で、区に対して事業団の積極的な聞き取りや運営事業の拡大等の助言が求められる。また、館長自身も積極的に行政当局に要請等を行なってほしい。
- 各児童館ともに図書室の蔵書は、古いものが多いと感じられた。児童館相互での交換や広報たいとうによる図書の寄贈を求める記事の掲載などにより、さらなる図書の充実が必要だと思われる。
- 専門技術を有する講師などについては、児童館相互で連携し、他の館に派遣するというのも重要と思われる。
- こどもクラブと一緒にいる館で、子どもの交流に温度差が見られた。施設の構造上の問題など難しい面はあると思うが、できるだけ子どもたちは一緒に遊ばせる工夫をしてもらいたい。

## その他

- 全ての館において、館内がとても整備され利用者に精神的な安定をもたらしていると感じた。不断の努力と台東区に根付いている〈おもてなしのこころ〉が表出しているものと思う。
- 各児童館ともに図工室はあるが絵画部門の存在が薄く感じられたので、充実を期待する。また、その作品の評価及び活用についても検討を重ねてほしい。作品を評価することも児童の励みになると考える。
- 同じ設備があっても、活用度に差があった。所属している職員の技量に頼るのではなく、全館回って指導できる人員の配置も必要と思われる。
- 各児童館の特色を出すことも大事だが、子どもは遠くにある館には行けないので、基本となる設備と事業は各館用意してもらいたい。

## (2) 施設の維持管理

委員会の 評価	A	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	池之端	松が谷	今戸	寿
		A	A	A	A	A	A	A

### 委員のコメント

#### 良い点

- 乳幼児から青少年まで幅広い利用者に配慮した施設設備の運営と管理がなされている。特に清掃が行き届き、子供たちが安心して、しかも安全に過ごせる環境作りに努力しているのは評価できる。
- 子どもが理解しやすいような掲示や怪我を防止するための工夫、また我が家と同様の生活感が味わえるような温かさを醸し出すなど、様々な配慮がされている。

#### 改善すべき点

- 池之端児童館については施設の安全上の対策として、図工室の天井も蛍光灯にカバーを取り付けてはどうか。他の館も含め、様々な可能性を考慮し、最善の安全対策を考えたい。
- 図工室の個々の工具が所定の位置に定まっている児童館と、まとめて一つの工具箱に入れる児童館があった。取り扱いが危険な物もあるので、所定の位置を決め、その在庫が把握可能な状態が良い。
- 蛍光灯が点いたり消えたりしている館があった。早めの点検・交換が望ましい。

#### その他

- 各児童館ともに、全体的に階段・廊下等が狭く感じられた。2階・3階がある館では、火災等の緊急事態を見据えて、児童を含めた避難訓練が十分に行われる必要がある。
- 玉姫児童館においてはミミズの生ゴミ処理で出来た肥料で植物を育てていた。生き物の力のすごさとエコで興味深かった。他の館でも置いてみてはどうか。

### (3) 利用者の満足度

委員会の 評価	S	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	池之端	松が谷	今戸	寿
		S	A	S	S	A	A	S

#### 委員のコメント

##### 良い点

- 区による評価シートの利用者数を見ると、ここ2・3年の利用者は目標値に近い状況と考えてよいであろう。実際に利用者の満足そうな表情や子どもたちが思うように体を動かし、保護者も談笑している状況から、その満足度は高いと考えられる。
- 視察時に利用満足度を質問したところ、児童はもとより、保護者も満足度は高く、利用者にとって不可欠の施設となっている。
- リピーターが多く、利用者が口コミで集まってきている。様々な行事を子ども達と一緒に企画しており、参加者も多い。年齢の幅が広く、遊び方なども違うが、上手に部屋割りなどで工夫している。

##### 改善すべき点

- 遊戯室など一部の子ども達が独占してしまわないように、さらなる配慮を期待する。

##### その他

- 満足度をより高めるためには、利用者と職員が一体となって児童館をつくっていく方向性が求められる。そうすることにより、一体感が生まれ、職員のモチベーションの向上にもつながると考えられる。
- よりの確な満足度を把握するために、利用者との懇談の機会を増やしたり、アンケートの記述式の項目を増やすなど検討してもらいたい。

(4) 収入支出

委員会の評価	A	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	池之端	松が谷	今戸	寿
		A	A	A	A	A	A	A

委員のコメント

良い点

- 7つの館とも、会計に関する資料を確認した結果、適切に会計処理が行われていると考えられる。
- 図工室の材料など、地域の方々からの寄贈によってまかなっており、経費の削減に役に立っている。今後も積極的に呼びかけを行ってほしい。

改善すべき点

- 予算の用途について、各児童館において柔軟に執行できるよう、取組みに応じて配慮してほしい。

その他

- 調理イベントの際の参加費は、今後雑収入として処理することはいいが、逆に個々のイベントにおいて収支が明確化することにより、事業が委縮しないことを望む。

## 2 総合評価

総合評価は、7ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会 の評価	妥当	【参考】区の評価						
		千束	玉姫	台東	池之端	松が谷	今戸	寿
		妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当

### 委員のコメント

- 各児童館とも、その地域社会に溶け込もうとする意図を感じさせる運営状況である。また、子どもの発達段階に応じた遊びの工夫や保護者の利用に配慮した実効性のある取組みをしている点を評価したい。児童館は、学校教育の場や家庭教育の営みを補填し、それらをゆるやかにつなぐ役割を持つ施設であろう。それゆえ、物心ともに<ゆったりとした、またゆっくりとした>営みと時間の流れを大切にしてほしい。
- 総論として社会福祉法人台東区社会福祉事業団の運営は「施設の目的」にそった事業運営に努めていると言える。職員に児童とともに遊び・喜び・鍛え・学ぶ姿勢が感じられ、日々事業運営改善の方策や手法を探求し、実現の努力を続けていると思われる。
- 以前と比べて、明るく元気ではつらつとした雰囲気であった。指定管理者制度になってからの児童館の館長は若く、専門的な知識も生かされており、それが運営に反映されているように感じた。この良さをさらに生かして子ども達の居心地のよい居場所を作ってもらいたい。木工や陶芸など専門のボランティアをお願いすることで、さらなる充実した指導を期待する。

### 3 評価委員会から区への意見

#### 委員のコメント

- 各児童館とも事業目的に即した運営に努力している状況がみてとれる。ただ、区と合意した予算や運営基準の範囲に忠実であろうとする面が強すぎて、各館の独自性や職員の個性・専門性がやや抑制されている面はないだろうか。各館が創意工夫できる面を支援する方向性を考え、その実行に向けた具体的な取組みを期待したい。具体的には、各館独自の事業開発の奨励、特徴ある事業への予算措置、利用者数に応じた人的な措置等が考えられる。
- 広報たいとうによる図書寄贈の案内や各イベントにおける講師・技術者のボランティアの募集告知等について、後方支援をしていくべきである。
- 改修工事の済んだところと年月の経ってしまったところでは、明るさや心地よさに差があった。老朽化した館の早めの改修をお願いしたい。

## 区による評価

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート		部	教育委員会事務局	課	児童保育課	
施設名称	〔37〕 東京都台東区立千束児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ（平成23年末まで13こどもクラブ）					
(3)経営状況	（24年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円、支出2,629,524,402円、収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-20-6					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年未年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5)規模	RC4階建て 3・4階 図書室・遊戯室・図工室・音楽室・こどもクラブ室等 千束保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	32,081,000	31,176,000	33,041,000	36,064,000	33,196,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	32,081,000	31,176,000	33,041,000	36,064,000	33,196,000
決算	委託料	32,302,401	31,849,502	34,318,317	30,310,519	31,344,530
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	32,302,401	31,849,502	34,318,317	30,310,519	31,344,530
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
開館日数		日	333	334	308	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度
利用者数		人	31,000	34,858	19,287	28,954



7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度の大規模改修工事完了後、24年度も引き続き、根岸・金杉地区への幼児向け出前活動を行い、児童館活動を広めた。</li> <li>父親参加の子育て支援事業の実施や異年齢の子ども達のニーズに合わせた屋上を含む全館での遊びの提供、行事参加から一人でも日常の利用が出来るように相談にのるなどきめ細かい活動を実施した。</li> </ul>				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2] (b)サービス水準 [2] (c)職員配置 [2] (d)職員研修 [2] (e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2] (g)自主事業の成果 [-] (h)個人情報保護 [2] (i)緊急時対応 [3] (j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2] (b)備品の管理 [2] (c)清掃・衛生管理 [2] (d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2] (f)管理記録の作成・保存 [2] (g)業務委託の事前承認 [2] (h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3] (b)苦情・要望への対応と報告 [2] (c)利用者数の目標達成 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2] (e)関係団体・地域との関わり [2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2] (b)経費縮減のための取組み [2]	(c)収支計画の達成 [2] (d)利用料等の徴収・管理 [-]		
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未達) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	根岸・金杉地域への出前活動や父親参加の幼児プログラム等様々な年齢を対象とした健全育成事業や子育て支援を展開した。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行っている。		
(2)施設の維持管理	A	大規模工事完了後、館内のレイアウトの変更等あったため、利用に際しての注意や管理を徹底し、利用者の安全確保に配慮し、施設維持に努めた。		
(3)利用者の満足度	S	大規模改修時に子ども達の異年齢にあった活動ができる環境整備に努めたため、使いやすく、館内、館外での活動を楽しめており、アンケート結果でも利用者満足度は高い。		
(4)収入支出	A	職員の異動による人件費や施設移転に伴う水道光熱費(23年度仮移転中は区負担)の増により決算額が昨年度より増加したが、消耗品の一括購入等経費節減、事務の効率化を行った。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		<b>妥当</b>	大規模改修の仮移転期間に根岸、金杉地域へ児童館活動を伝え、改修後も引き続き出前活動を実施した。異年齢の利用者に合った活動や交流を行った結果、利用者満足度は高く、児童健全育成の拠点として新しい児童館活動を積極的に展開した。	
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児から小学生、中高生までの安心した居場所、安全な遊び場として環境整備に配慮し、利用者の交流を促進する。</li> <li>可能な限り、利用者のニーズを受け止め、ニーズに合った運営の充実、サービスの向上に努める。</li> <li>学校を含めた地域との協力関係を推進し、子ども達に関係する様々な関係機関と繋がり、地域の児童健全育成の拠点としての役割を果たして行く。</li> </ul>				

施設名称	〔38〕 東京都台東区立玉姫児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(24年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円, 支出2,629,524,402円, 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区清川2-22-13					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC7階建て都営住宅1階 図書室・遊戯室・音楽室・こどもクラブ室等 玉姫保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	34,415,000	31,734,000	31,216,000	31,736,000	34,259,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	34,415,000	31,734,000	31,216,000	31,736,000	34,259,000
決算	委託料	28,699,137	31,418,860	31,254,219	35,123,473	34,945,870
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	28,699,137	31,418,860	31,254,219	35,123,473	34,945,870
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
開館日数	日	333	334	335	334	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(26年度)	22年度	23年度	24年度	
利用者数	人	27,000	27,786	24,335	24,451	



平成25年度 指定管理者施設管理評価シート		部	教育委員会事務局	課	児童保育課	
施設名称	[39]	東京都台東区立台東児童館				
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(24年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円, 支出2,629,524,402円, 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区台東1-11-5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC5階建て 3階 遊戯室・図書室・図工室・こどもクラブ室等 台東保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	32,319,000	32,052,000	31,325,000	31,823,000	33,633,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	32,319,000	32,052,000	31,325,000	31,823,000	33,633,000
決算	委託料	28,842,382	29,722,630	29,794,042	31,656,518	31,887,180
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	28,842,382	29,722,630	29,794,042	31,656,518	31,887,180
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
開館日数	日	333	334	335	332	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度	
利用者数	人	16,000	15,499	12,945	15,068	

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>・平成24年9月から平成25年3月末まで、耐震大規模改修工事のため、旧柳北小学校（浅草橋地区）に仮移転したため、仮移転期間中は、今までどおりの平成小学校、黒門小学校地域に加えて台東育英小学校地域にも児童館活動を広め、それぞれの地域関係機関との連携を深めた。</p> <p>・それまで利用しづらかった浅草橋、柳橋地域の幼児親子や小中学生に児童館活動を提供した。</p>				
8. 評価項目		3: 協定等の水準を上回っている。	0: 協定等の水準を下回っている。	
		2: 協定等の水準どおりである。	-: 評価対象外項目。	
		1: おおむね協定等の水準だが課題がある。		
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応	[3]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[3]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費縮減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[-]
9. 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。		
		A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。		
		B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。		
		C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。		
		D (水準未満) : 協定等の水準を満たしていない。		
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	A	竹町地区と同様に大規模改修の仮移転に伴い、浅草橋地区の関係機関とも連携を深め、児童館活動を広めた。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行った。		
(2) 施設の維持管理	A	大規模改修にあたって利用者の利便性向上の為に要望をまとめ、移転についても利用者への周知を含めて安全に実施した。仮移転先でも遊具の消毒や室内の換気、清掃をこまめに行い、施設の維持管理に努めた。		
(3) 利用者の満足度	S	世代別利用者の視点に立ち、それぞれが利用しやすい環境整備に努め、仮移転先の制約もあったが、要望には速やかに応え、活動を行った。竹町地区同様浅草橋地区の関係機関との連携を深め、児童館活動を広めた。		
(4) 収入支出	A	消耗品の一括購入、長期契約への変更、事務の効率化を図り、経費削減に取り組んだ。		
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		<b>妥当</b>	仮移転期間中も新旧の関係機関との連携を深め、新たな地域での利用者拡大に向けて事業に取り組み、浅草橋地域の住民に児童館活動の楽しさを伝えた。	
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
<p>・大規模改修が完了し、かつてこどもクラブだった部屋を多目的な集会所として、幼児親子も利用しやすく整備したので、日常活動の充実や幼児・園児向けプログラムの実施により、利用者の拡大に努力する。</p> <p>・竹町地区、浅草橋地区の児童館として関係機関との連携をさらに深め、地域の児童健全育成の拠点としての役割を果たして行く。</p>				

施設名称	〔40〕 東京都台東区立池之端児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(24年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円, 支出2,629,524,402円, 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区池之端2-3-3					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC3階建て 遊戯室・図書室・音楽室・図工室・こどもクラブ室					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	35,168,000	31,863,000	37,416,000	31,549,000	29,977,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	35,168,000	31,863,000	37,416,000	31,549,000	29,977,000
決算	委託料	29,763,640	30,927,035	33,551,534	34,008,595	32,344,574
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	29,763,640	30,927,035	33,551,534	34,008,595	32,344,574
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
開館日数	日	333	334	335	334	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(26年度)	22年度	23年度	24年度	
利用者数	人	27,000	22,524	23,901	26,995	

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域懇談会において「本来の子ども達のあるべき姿や現状」について地域の方々と意見交換を行い、児童館活動に活かし、地域と児童館が共に考え、共に子ども達を育てる関係づくりに努力した。</li> <li>・谷中コミュニティセンター改築の為、谷中の児童館機能が休止となったが、谷中小学校や防災広場初音の森での出前活動を行い、谷中地域の児童の見守りを谷中こどもクラブと協力して行った。</li> </ul>														
8. 評価項目 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">3: 協定等の水準を上回っている。</td> <td style="width:50%;">0: 協定等の水準を下回っている。</td> </tr> <tr> <td>2: 協定等の水準どおりである。</td> <td>-: 評価対象外項目。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</td> </tr> </table>					3: 協定等の水準を上回っている。	0: 協定等の水準を下回っている。	2: 協定等の水準どおりである。	-: 評価対象外項目。	1: おおむね協定等の水準だが課題がある。					
3: 協定等の水準を上回っている。	0: 協定等の水準を下回っている。													
2: 協定等の水準どおりである。	-: 評価対象外項目。													
1: おおむね協定等の水準だが課題がある。														
評価の観点	評価項目													
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(g)自主事業の成果 [-]	(h)個人情報保護 [2]										
	(b)サービス水準 [2]	(i)緊急時対応 [3]	(j)警備・防犯体制 [2]											
	(c)職員配置 [2]													
	(d)職員研修 [2]													
	(e)案内・接遇 [2]													
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]										
	(b)備品の管理 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]												
	(c)清掃・衛生管理 [2]													
	(d)施設の修繕 [2]													
(3)利用者の満足度 平均 [2.4]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]											
	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]													
	(c)利用者数の目標達成 [3]													
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [-]											
	(b)経費縮減のための取組み [2]													
9. 評価 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td>S (水準以上)</td> <td>: 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。</td> </tr> <tr> <td>A (適正)</td> <td>: 協定等の水準を満たす管理が行われている。</td> </tr> <tr> <td>B (一部課題あり)</td> <td>: 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。</td> </tr> <tr> <td>C (課題あり)</td> <td>: 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。</td> </tr> <tr> <td>D (水準未達)</td> <td>: 協定等の水準を満たしていない。</td> </tr> </table>					S (水準以上)	: 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。	A (適正)	: 協定等の水準を満たす管理が行われている。	B (一部課題あり)	: 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。	C (課題あり)	: 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。	D (水準未達)	: 協定等の水準を満たしていない。
S (水準以上)	: 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。													
A (適正)	: 協定等の水準を満たす管理が行われている。													
B (一部課題あり)	: 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。													
C (課題あり)	: 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。													
D (水準未達)	: 協定等の水準を満たしていない。													
評価の観点	評価	説明												
(1)事業の運営	A	池之端地域の児童健全育成の拠点として幼児親子から小中学生までが継続的に利用できるよう保護者とも信頼関係を築くよう努めた。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行っている。												
(2)施設の維持管理	A	自主的な修繕や部屋の整備に努めているため、館内全体を明るく使いやすい施設に保っている。また、館内、館外の掲示について情報が見やすいように工夫した。												
(3)利用者の満足度	S	保護者、小学校、中学校、町会、青少年委員等との連携を深めると共に、各年齢の利用者が使いやすい環境整備に努めた結果、日常利用、行事共に満足度は高く、利用者も増加した。												
(4)収入支出	A	職員の異動により人件費増となったが、消耗品の一括購入、複数年の契約などにより経費節減・事務の効率化を図っている。												
10. 総合評価 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:25%;">良好</td> <td style="width:25%;">妥当</td> <td style="width:25%;">要努力</td> <td style="width:25%;">要改善</td> <td style="width:25%;">不適</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;"><b>妥当</b></td> <td colspan="3">乳幼児、小学生の保護者や地域の関係機関との信頼関係づくりを積極的に行い、利用者満足度での評価は高い。また、谷中地域への出前活動の展開等地域の児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。</td> </tr> </table>					良好	妥当	要努力	要改善	不適	<b>妥当</b>		乳幼児、小学生の保護者や地域の関係機関との信頼関係づくりを積極的に行い、利用者満足度での評価は高い。また、谷中地域への出前活動の展開等地域の児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。		
良好	妥当	要努力	要改善	不適										
<b>妥当</b>		乳幼児、小学生の保護者や地域の関係機関との信頼関係づくりを積極的に行い、利用者満足度での評価は高い。また、谷中地域への出前活動の展開等地域の児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。												
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・池之端児童館は、谷中地域もカバーしているため、乳幼児親子から高校生までの幅広い利用者にとって安心・安全な居場所となるよう施設の環境整備に努め、保護者や地域関係機関とのより深い連携の基に活動を行う。</li> <li>・また、関係機関の他に地域の個人や商店とも協力関係を築き、児童の健全育成を図る。</li> </ul>														

施設名称	〔41〕 東京都台東区立松が谷児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(24年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円, 支出2,629,524,402円, 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区松が谷4-15-11					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC4階建て 3・4階 遊戯室・図書室・図工室・集会室・こどもクラブ室等 松が谷保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	38,030,000	39,537,000	36,926,000	38,220,000	38,771,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	38,030,000	39,537,000	36,926,000	38,220,000	38,771,000
決算	委託料	36,103,463	33,739,327	39,391,367	39,169,219	39,008,613
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	36,103,463	33,739,327	39,391,367	39,169,219	39,008,613
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
開館日数	日	333	334	335	334	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度	
利用者数	人	37,000	41,969	34,806	34,033	



7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人でふらっと来館した児童を遊びで繋げ、子ども達の交流や自主活動に広がる支援を行った。</li> <li>駒形中学校の祭りへの参加、入谷老人福祉館や北上野長寿会との交流など、異世代交流を行った。</li> <li>関係機関との連携を行い、それぞれの年齢を対象に様々な分野の活動を実施した。</li> </ul>					
8. 評価項目		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [-]	
9. 評価					
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未達) : 協定等の水準を満たしていない。					
評価の観点	評価	説明			
(1)事業の運営	A	子ども達の自主活動の支援や地域の関わりに力を入れ、幅広い活動を行った。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行っている。			
(2)施設の維持管理	A	利用者数の多さに比べて施設が小さい制約があるが、環境整備と掲示の工夫を行い、利用者の視点に立った使いやすい施設を心がけた。また、老朽化や汚れが目立つ場所を重点に修繕を行い、施設を清潔に維持した。			
(3)利用者の満足度	A	様々な行事への要望と日常活動とのバランスを考慮して日程調整や内容の検討を行い利用者の要望に応えた。また、近隣の小学校、主任児童委員、保護者を繋ぎ、孤立した子育てから地域ぐるみの子育てに向けた取り組みをしている。			
(4)収入支出	A	消耗品の一括購入、複数年の契約などにより経費節減・事務の効率化を図っている。			
10. 総合評価					
良好 妥当 要努力 要改善 不適					
妥当		区内中心部にあるため利用者が多いが、近隣の公園の活用や施設との交流などにより、施設的な制約を工夫し幅広い活動を行った。活動実施を通して保護者や関係機関との信頼関係を築いている。			
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応					
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の自主性・主体性を育むために「やりたいこと」への支援を行うとともに、継続した日常遊びの支援や行事の充実に取り組む。</li> <li>利用しやすい児童館として環境整備・安全管理を徹底し、相談や要望を気軽に話せる利用者の立場に立った運営を目指す。</li> <li>児童館から地域へのネットワークを広め、様々な年代との交流を重視した活動を行う。</li> </ul>					

施設名称	〔42〕 東京都台東区立今戸児童館				
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31		

1. 指定管理者の概要

(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)
(3)経営状況	(24年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円, 支出2,629,524,402円, 収支差額173,798,764円

2. 施設の概要

(1)所在地	台東区今戸1-3-6
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)
(5)規模	RC3階建て 遊戯室・図書室・音楽室・図工室・第2遊戯室等
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名

3. 事業(サービス提供)の概要

(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業
(2)自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	43,997,000	42,627,000	42,234,000	37,736,000	38,954,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	43,997,000	42,627,000	42,234,000	37,736,000	38,954,000
決算	委託料	39,373,360	40,773,160	38,709,249	38,739,431	38,143,393
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	39,373,360	40,773,160	38,709,249	38,739,431	38,143,393
	収支	0	0	0	0	0

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度
開館日数	日	333	334	335	334

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(26年度)	22年度	23年度	24年度
利用者数	人	22,000	21,770	16,304	19,741

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意見や要望について速やかに応え、来館時や帰宅時に職員から声を掛け、信頼関係を築いた。</li> <li>・子ども企画や児童館祭りなどの行事をきっかけに自主性・主体性の育成に努め、子ども同志の繋がりを増やした。</li> </ul>					
8. 評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]	
9. 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未達) : 協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評価	説明			
(1)事業の運営	A	保健所の育児相談や幼稚園児対象プログラムの実施、図書室の図書の貸し出しの簡素化などにより継続的な利用が拡大した。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行っている。			
(2)施設の維持管理	A	安全・安心な快適な環境づくりに努めた。施設や遊具の点検を徹底し、必要に応じて修繕を行い、清掃にも気を遣った。			
(3)利用者の満足度	A	遊戯室の改修工事があり、利用者にとっては不便になった期間があったが、アンケート結果を基に活動内容を検討し要望に沿った活動や環境整備に努めた。また、児童館祭りや行事に地域の方を招待するなど地域との関係づくりを大切にしている。			
(4)収入支出	A	消耗品の一括購入、複数年の契約などにより経費節減・事務の効率化を図っている。			
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		<b>妥当</b>	保護者や児童の要望を受け止め、できることはすぐに対応し、事業内容の充実と情報発信の強化を行い、利用者を拡大した。また、地域と共に子ども達を育てるため、行事の実施では、地域との繋がりを大切に協力関係を継続させている。		
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生タイムを実施している児童館であるため、安全に安心して過ごせる地域の居場所として、乳幼児から中高生までがお互いの成長を感じ合い高めて行ける事業展開を行う。</li> <li>・利用者の要望を受け止め、ニーズに合った事業運営を行い、サービスの質の向上を図る。</li> <li>・事業の継続を図りながら、地域との関係を深め、新たな事業にも取り組む。</li> </ul>					

施設名称	〔43〕 東京都台東区立寿児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(24年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円, 支出2,629,524,402円, 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区寿1-4-5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC地上3階地下2階建て 遊戯室・図書室・図工室・集会室兼小遊戯室・こどもクラブ室等					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員6名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	37,773,000	38,579,000	42,570,000	42,568,000	42,500,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	37,773,000	38,579,000	42,570,000	42,568,000	42,500,000
決算	委託料	36,221,768	36,146,675	36,790,997	35,546,742	42,437,314
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	36,221,768	36,146,675	36,790,997	35,546,742	42,437,314
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
開館日数	日	333	334	335	334	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(26年度)	22年度	23年度	24年度	
利用者数	人	48,000	38,552	47,144	45,800	

